２０２２年度　文部科学省　中卒認定　数学　数当てゲームの決まり

文部科学省　２０２２年度　中学校卒業程度認定試験　数学

文部科学省ウェブサイト利用規約（公共データ利用規約　第１．０版準拠）

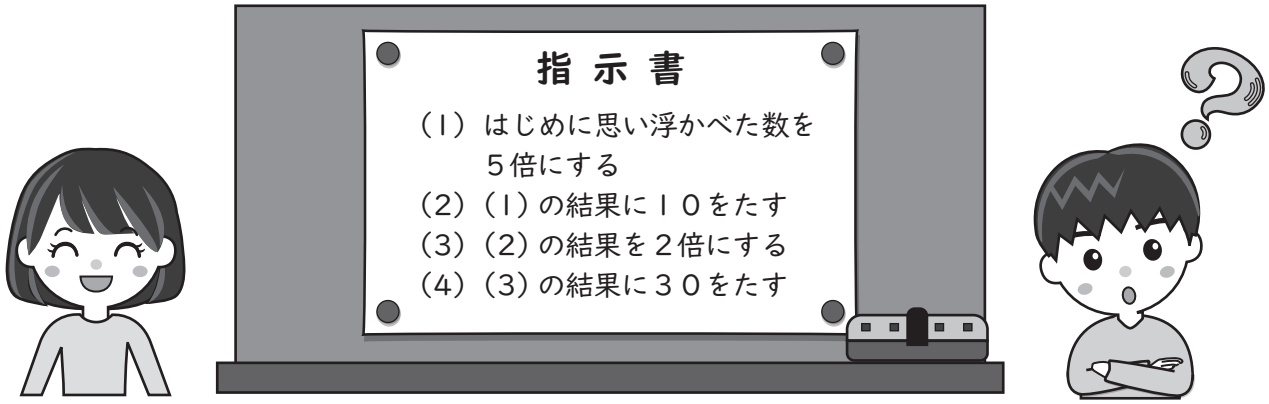
対象ページを抜粋し、出典表紙を追加。

https://www.mext.go.jp/content/20240823-mxt_syogai02-mext_000025638_03sugaku.pdf

https://www.mext.go.jp/b_menu/1351168.htm

2 下のように，ひかるさんとゆうやさんが数当てゲームをしている。

ひかるさん：数を１つ思い浮かべてみて。
ゆうやさん：思い浮かべたよ。
ひかるさん：そうしたら，黒板の指示書の通りに計算してみて。
いくつになった？
ゆうやさん：70 になったよ。
ひかるさん：はじめに思い浮かべた数は『 ① 』だね？
ゆうやさん：すごい。どうして分かったの？



このとき，次の 1，2 の各問いの答えを解答用紙の答えのらんに書きなさい。

1　ゆうやさんがはじめに思い浮かべた ① の数を求めなさい。

2　はじめに思い浮かべた数を当てることができる理由は，次のように文字を使って説明することができる。

このとき，下の〔**説明**〕の中の　②　にあてはまる言葉として適切なものを，次の**ア**から**オ**までの中から１つ選び，記号で答えなさい。

〔**説明**〕

はじめに思い浮かべた数を n とすると，指示書の通りに計算した後の数は

$2(5n + 10) + 30$

と表すことができる。

これを計算すると，

$2(5n + 10) + 30$

$= 10n + 20 + 30$

$= 10n + 50$

よって，指示書の通りに計算した後の　②　と，はじめに思い浮かべた数になる。

ア　数を 10 倍して 50 をたす

イ　数に 50 をたして 10 倍する

ウ　数から 50 をひいて 10 倍する

エ　数から 50 をひいて 10 でわる

オ　数を 10 でわって 50 をひく